



▲訓練状況を確認する中嶋市長

▼避難所へ参集する柏木学区の皆さん



▼管工事協同組合による給水訓練



20万人を越える死者が出たハイチ大地震、阪神大震災の約700倍のエネルギーで、日本にも津波が到達したチリ大地震。今年に入って世界で大規模な災害が相次いで発生しています。こうした災害は、いつどこで発生するかわかりません。

市でも毎年防災訓練を行い、万一の災害に備えています。今年3月7日、柏木小学校グラウンドを主会場に訓練を実施、市民、防災関係機関等の相互連携の強化に取り組み、役割を確認しました。

この日は、午前8時に滋賀県南東部にマグニチュード7.6の大規模な直下型地震が発生したという想定で行われました。

あいにくの雨天ではありませんでしたが、地元柏木学区住民の方をはじめ、防災関係機関11団体約500人が、避難や救助、火災防御などの訓練に熱心に取り組み、防災意識や防災力の向上が図られました。多くの関係者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



▼エルピーガス協会によるガス供給訓練

▼赤十字奉仕団による炊き出し訓練



▶水口消防署による救助訓練



▼市消防団による火災防御訓練



▼市消防団女性消防隊が応急措置方法を説明



▼電気工事工業組合による電気設備等復旧訓練

